



第123回定時総会

年間事業計画

2021年スローガン

颯爽たれ

一般社団法人

松本青年会議所

The Creed of Junior Chamber International

We Believe:

That faith in God gives meaning and purpose to human life;
That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;
The economic justice can best be won by free men through free enterprise;
That government should be of laws rather than of men;
That earth's great treasure lies in human personality; and
That service to humanity is the best work of life.

JCI綱領

我々はかく信じる：

「信仰は人生に意義と目的を与え
人類の同胞愛は国家の主権を超越し

正しい経済の発展は
自由経済社会を通じて最もよく達成され
政治は人によって左右されず法によって
運営されるべきものであり
人間の個性はこの世の至宝であり
人類への奉仕が人生最善の仕事である」

JCI Mission

“To provide development opportunities that empower young people to create positive change.”

JCIのミッション(使命)

青年が積極的な変革を創造し開拓するために
能動的に活動できる機会を提供する。

JCI Vision

“To be the leading global network of young active citizens.”

JCIの未来像

青年の行動的市民活動を支援する
国際的なネットワークをもつ先導的機関となる

JC宣言

日本の青年会議所は
希望をもたらす変革の起点として
輝く個性が調和する未来を描き
社会の課題を解決することで
持続可能な地域を創ることを誓う

綱 領

われわれ J A Y C E E は
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者 相集い 力を合わせ
青年としての英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

松本JC宣言文

我々松本青年会議所は
青年らしき眼差しで
このまちの魅力と個性を育み
人と人 地域と世界を繋ぐ
礎となることを
宣言する

一般社団法人 松本青年会議所 第123回定時総会 次第

日時：2021年1月15日（金） 15：30～

場所：M ウィング6 F ホール

■第1部（15：30～17：35）

場所：M ウィング6 F ホール

- 1) 開会宣言
- 2) 国歌斉唱
- 3) J C ソング斉唱
- 4) J C I クリード唱和
- 5) J C I ミッション唱和
- 6) J C 宣言文朗読並びに綱領唱和
- 7) 松本 J C 宣言文朗読
- 8) 2020年度理事長挨拶
- 9) 議長指名
- 10) 総会成立宣言
- 11) 議事録作成人指名
- 12) 議事録署名人指名
- 13) 議事
 - 第1号議案
2020年度事業報告及び決算承認の件
 - 第2号議案
2021年度役員選考委員会解散の件
- 14) 監事総評
- 15) 褒賞並びに記念品贈呈
- 16) 出向者辞任挨拶
- 17) 松本青年会議所役員辞任挨拶
- 18) 閉会宣言

■第2部（18：00～20：00）

場所：M ウィング6 F ホール

- 1) 開会宣言
- 2) プレジデントピンの交換
- 3) 2021年度理事長挨拶
- 4) 出向者紹介
- 5) 新入会員紹介
- 6) 議長指名
- 7) 総会成立宣言
- 8) 議事録作成人指名
- 9) 議事録署名人指名
- 10) 議事
 - 第1号議案
2021年度年間事業計画（案）
及び収支予算書（案）承認の件
- 11) 監事総評
- 12) 報告連絡事項
- 13) 若い我ら合唱
- 14) 閉会宣言
- 15) 記念撮影

目 次

<理事長所信>	一般社団法人松本青年会議所 第62代理事長 和田 元樹	1
<副理事長方針>		
副理事長	澤地 雅弘	5
副理事長	金井 佑輔	6
副理事長	百瀬 智之	7
副理事長	加藤 賢一	8
<専務理事・事務局長方針>		
専務理事	中野 英二	9
事務局長	上條 僚士	10
<直前理事長方針>		
直前理事長	小林 篤史	11
<監事方針>		
監事	滝澤 顕	12
監事	平林 正浩	13
<台南女国際青年商會賀詞>		
2021年度会長	顔綵緹	14
<委員会事業計画>		
総務組織変革委員会		16
レジリエント委員会		17
次世代の学び推進委員会		18
NEW経済委員会		19
観光響和委員会		20
ヘリテージ継承委員会		21
広報拡大委員会		22
未来のJAYCEE育成委員会		23
<出向者一覧>		
出向者一覧		24
<各組織図>		
一般社団法人 松本青年会議所組織図		25
長野ブロック協議会組織図		26
北陸信越地区協議会組織図		27
公益社団法人 日本青年会議所組織図		28
年間スケジュール		29
理事長囑託団体名役職一覧		30
松本青年会議所歴代理事長		31
物故会員		32
賛助会員		34

2021年度 一般社団法人 松本青年会議所 理事長所信

一般社団法人 松本青年会議所

第62代理事長 和田 元樹

颯爽たれ

<基本理念>

美しくすがすがしい風を巻き起こそう

<基本方針>

- 一. いまだからこそ挑戦をしよう。
- 一. このまちの魅力と個性を未来へ繋げよう。
- 一. 多様性を尊重し、新時代へ皆で踏み出そう。

1949年、戦後間もない苦難に満ちた時代の中で、日本の再建に責任感と情熱をもった青年有志により、明るい豊かな社会の実現を理想に掲げ、日本の青年会議所の運動が始まりました。その熱意に共感し、各地に青年会議所運動が広がる中で、1960年、このまちにも松本青年会議所が設立されました。当時の松本のまちは開発が急激になされる反面、安全や子どもたちの居場所がどこか置き去りにされ、様々な課題が混在しておりました。そんなまちを憂い、このまちの明るい未来を願う若き青年たちは、経験や知識もない中、挑戦を繰り返し、今日のこのまちの豊かさを築き上げる一助となったのだと思います。そして私たちは、そんな先人たちの熱き想いにより築かれた豊かな社会に生まれ、その恩恵の中で何不自由のない生活を送らせていただいております。

私は、2016年に松本青年会議所に入会をさせていただき、5年間多くの運動に参加し、また先輩諸兄がこれまでに起こされた運動に触れ、その熱き想いがこのまちを形作り、彩りを与えているのだということを知りました。また、文化や言葉の壁を越え、深き友情を積み重ね本年度姉妹締結30周年を迎える台南女国際青年商會をはじめ、各地会員会議所との交流をさせていただく中で、それぞれのまちを愛する同志たちと接し、様々な魅力や個性を持つまちを訪問させていただき、改めて自分の住まうこのまちを見つめなおす機会を得ました。

松本青年会議所では事業構築の過程で、相手を思いやる心や、その場その場でのあるべき姿、なすべき行動、自己研鑽を重ね新しいことへ挑戦する姿勢を学びます。私もこれまでの青年会議所活動の中で、悩み苦しみ眠れない日々もありましたが、仲間や先輩方、また松本青年会議所の運動に携わっていただいている多くの人々に支えられていることに気付き、感謝の心とまちへの想いが高くなりました。

まだまだ未熟な青年が仲間とともに議論を重ね、様々な課題解決の模索や魅力的なまちの発信に汗をかき姿にこそ、ときに人々の心を打つ力があり、新しい時代を築いていくすがすがしさを感じるのだと思います。

【はじめに】

2020年新型コロナウイルスの流行により世界の常識が変わり始めています。人と人との距離に恐怖心が生まれ、地域のイベントやお祭りなど人々が楽しみにしていた企画や、冠婚葬祭といった人生における節目ともなる大切な場面にさえも心理的な抑制が掛かっています。2019年末までにあった当たり前の日常は、遠くかけ離れた夢の生活のようにさえ感じ、いつ終わるかわからないこの闘いに人々は疲弊しています。その一方でコロナ禍以前より挙げられていた「CO₂の削減」や「環境汚染」などの地球規模での課題は、皮肉なことに人類の経済活動の落ち込みにより改善されました。私たち人類は、経済第一主義にはいずれ終焉が来て、できるだけ早く別の道を歩まなければならないと分かっていたように、快適な生活を投げうってまで、新しい社会への一步を踏み出すことができませんでした。強制的に経済が止まり、新しい生活様式を考え直しているいまだからこそ、環境や生命本来の豊かさを追求した新しい道に歩みを進めるべきです。

松本青年会議所はすべての議案にSDGsを関連付けております。2020年度においても多くの持続可能社会実現への運動が為されました。私たちが運動を展開することで地球の環境改善はもとより、人々の生活の豊かさがより持続可能になるのであれば、もはやその運動を止めてはならないのだと思います。また、創立から61年の間に会員構成も変わり、個々の置かれている環境や考え方に多様性が生

まれてきております。新しい時代へ歩みを進めようとしているいまだからこそ、会員への機会提供の活発化や会務システム等の効率を向上し、私たちの組織自体が会員の多様性を活かせるように進化をし、青年会議所運動の可能性を広げていくべきだと考えます。

新しい社会においてこのまちは、世界中からの多くの人々であふれるでしょう。その日のために、また、このまちの宝である子どもたちやその先に続く私たちの子孫のために、私たち松本青年会議所はこのまちの更なる発展を夢見て、いまだからやるべきこと、いましかできないことを積み重ねて参ります。

【古き良き誇りの継承】

私たちが愛してやまないこのまちは、見渡す限り美しい山々に囲まれ、澄んだ空気と清らかな水が多く、多くの動植物と人々の生活に豊かさをもたらしてくれています。また、温泉や歴史的な遺産、それらを形成する情緒ある街並みは先人たちが育ててくださった私たちの心の拠りどころです。いまの子どもたちが大人になった時に、故郷であるこのまちを愛してもらえるためにも、歴史的資産や雄大な自然、それらを生かしたまちづくりへの意識醸成を図り未来へ継承していかなければなりません。

また、近年自然災害が多発しており、このまちを取り巻く豊かな環境にも保障がありません。新たな感染症の蔓延もあり、災害や安全への関心が高まっているいまだからこそ正しい知識を身に付け、これからは起こりうる未曾有の厄災に対策を講じ、より強靱で古き良き文化を未来へ繋いでいくためのまちづくりを考える良い機会です。

【新しい社会の創造】

豊かな環境を未来に繋ぎ、いまを生きる人々がより安心して生活を送る社会の実現のために、これまでとは異なる生活様式や、より地球にやさしい経済活動が求められています。また、持続可能な社会の実現にむけて人類が解決していかなければならない課題に突破口を開けるのは、平均的な知識ではなくズバ抜けたアイデアだと考えます。多様性を尊重し、各々が持つ素晴らしい個性を伸ばしていくことが、これからさらに重要視されていくでしょう。

さまざまな社会問題の解決に向けて事業展開をする「ソーシャルビジネス」、これまでとはことなる「多様性」や「探求性」に重きを置いた教育、「マイクロツーリズム」や「LOCAL TO LOCAL」といった新しい観光の在り方、様々なキーワードが生まれ新しい社会に向け地球規模の変革が起きようとしています。これまでの概念に疑問を持ち、多面的な視野をもって新しい社会の在り方を考えていくべきです。魅力あふれる地方都市だからこそ大都市とは異なる世界基準を生み出すことができるのだと思います。

【結びに】

青年よ、いまこそ立ち上がろう。これまでの常識や慣れ親しんだ日常を取り戻すためではなく、以前よりも地球環境や生命本来の豊かさを追求した社会を目指して。私たちの子どもや、その先の世代が明るく豊かなよりよい暮らしを送るために。私たちの誇りであるこのまちに多くの人々が訪れ私たちと同じようにこのまちを愛していただけるその日のために。

私たちの先輩諸兄が戦後、豊かな社会を夢見て立ち上がった日と同じように、青年会議所は先のない世界にこそ、その青年らしき発想と行動で、新しい社会の創造の礎となるべく、颯爽たる挑戦を繰り返し行っていくべきなのだと信じています。

【委員会構成】

総務組織変革委員会

- ・財務運営
- ・新しい組織運営の形の模索

レジリエント委員会

- ・災害意識の醸成
- ・北陸信越地区大会の監修

次世代の学び推進委員会

- ・多様性を育む社会へ
- ・地域教育の在り方の発信

NEW経済委員会

- ・新しい働き方の研究
- ・ソーシャルビジネスの推進

観光響和委員会

- ・このまちの特色を生かした観光の在り方の模索
- ・信州まつもと空港の可能性の発信

ヘリテージ継承委員会

- ・文化財への市民意識の向上
- ・市民参加型のまちづくりの新しい形

広報拡大委員会

- ・組織的な広報
- ・多様性ある組織に向けての拡大
- ・出向者のサポート

未来のJAYCEE育成委員会

- ・青年会議所の基礎の習得
- ・姉妹青年会議所、友好青年会議所との連携

副理事長方針

一般社団法人 松本青年会議所

副理事長 澤地 雅弘

颯爽たるためには

2020年度、これまでに青年会議所が経験したことのない災害が全世界で発生し、今でも我々の生活に大きな影響を与えています。新型コロナウイルスの世界的流行により、我々の生活や活動には大きな変化が生まれました。それと同時に、新たな人と人の繋がり、新たな経済活動等、様々な可能性を皆が考えるようになりました。

颯爽とは、「人の姿・態度・行動が、さわやかで勇ましいさま」をいいます。2021年度、我々は、颯爽とした姿で、このまちを牽引していくこととなります。しかしながら、我々が颯爽たるためには、我々の組織が堅実であり、堅固であることも必要となります。2020年度、新型コロナウイルスの蔓延により、我々は、経済、教育、政策等すべての分野において、大きな打撃を受けました。このような状況下で、我々は、この危機を打開するために、様々な可能性を考えるようになりました。私たちが、颯爽たるために、今こそ、組織の体制を今一度見直し、そして、堅牢堅固な組織という固い地盤の下、颯爽たる姿で、2021年度の活動をおこないます。

また、2021年度、当会議所は、公益社団法人日本青年会議所北陸信越地区協議会第63回地区フォーラムの主幹青年会議所となっております。新型コロナウイルス流行が続く中、我々に青年会議所の運動として、どのような可能性があるかを検討し、これまでの慣行にとらわれない地区フォーラム開催を目指します。

2020年度は、新型コロナウイルスの蔓延のニュースが飛び交う一方、令和2年7月豪雨災害等の自然災害が発生しております。毎年のように、発生する自然災害に対して、我々が無力であってはけません。当会議所が有事の際、どのような対応をとるべきか具体的行動をもって示していきます。

新型コロナウイルスの流行により我々を含めた全人類が、大きな打撃を受けております。2021年度は、このような危機も乗り越え、新たな青年会議所の組織づくりを目指します。

副理事長方針

一般社団法人 松本青年会議所

副理事長 金井 佑輔

颯爽と走ろう

2021年度のスローガンは「颯爽たれ」になります。私は、颯爽と走ろうと思います。なぜ走るか。青年会議所は単年度制だからです。2021年度という限られた時間の中で何かを成すには走りながら考え、実行していくしかありません。2020年3月以降、我が国は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、我々の生活や働き方、価値観に大きな変化が生まれました。緊急事態宣言、3密の回避や新しい生活様式の推奨、リモートワーク等の新しい働き方への対応など、前例にないことが続いております。そのような状況の中でこのまちに対して何かを成すということは大変に難しく、険しいことでもあります。歩いている暇はありません。いまある課題にしっかりと向き合い、走りながら考え、実行していきます。

また走る際に心がけたいことが2点あります。1点目は、私は青年会議所に入会してから経済系の委員会に長く所属してきました。そこで感じたことは、経済の世界は「若さ」だけでは動かせないこと。そして「新しい発想」を持って取り組まなければならないことです。一代目、二代目の集まりではなく、新経営者としての自覚と責任に徹し、因習的圧力をはね返すたくましいド根性と実行力、そして新しい発想を持って、このまちに持続可能な新しいモデルを構築していきます。2点目は未来のリーダーを育てる意識です。昨今のコロナ禍の様に、またいつの日か国難が訪れても、未来のリーダーがこのまちを救ってくれることでしょう。そのためには日頃から、将来のリーダーになるべき人材を育成する環境づくりに努めることが大切だと考えます。その取り組みとして将来の颯爽たるリーダーを育成するために、子どもたちの力を十分に発揮する場の提供、次世代教育のあり方を考え、新しい概念を発信していきます。そして、このまちの人々に必要とされる、「心に響く」事業を行っていきます。

先人たちが戦争や経済危機、自然災害など国難を乗り越えたからこそ、私たちが存在していることを忘れず、大きな理想、未来への期待を強く持ち、希望に満ちた明るい豊かな社会のために、颯爽と走り、このまちに美しくすがすがしい風を巻き起こしていきます。

副理事長方針

一般社団法人 松本青年会議所

副理事長 百瀬 智之

『和田理事長がやると言ったことは、やる。』

副理事長方針

一般社団法人 松本青年会議所

副理事長 加藤 賢一

颯爽たる物見の侍へ

青年会議所活動が始まって以来最大のパンデミックである新型コロナウイルスは瞬く間に広がり世界中で猛威をふるっています。人類の歴史は感染症との闘いと言われるようにいくつものパンデミックを乗り越えて生き延びてきました。数ある感染症と人類は共存しています。新型コロナウイルスは大切な人の命を奪う恐ろしい感染症です。けれどもずっと家に閉じこもっているわけにはいかない。こんな時だからこそ地域のリーダーである我々が率先して、明るい豊かな社会を築くために行動しなければなりません。我々には知識と知恵があります。やみくもに恐れるのではなく、正しい知識で正しく恐れる。そして新しい知恵と工夫で2021年度の運動を展開します。

青年会議所が他の団体と決定的に異なる点は、意識変革団体であるという点です。JAYCEEは市民の意識を変えることで地域やまちを変え、ひいては国や世界を変えていくのです。そのためには、志を同じくする会員を募ることで運動の発信効果を高めることが必要となります。価値観や環境が多様化した今、社会的立場が異なる会員の拡大が必要になっています。2020年度に準会員規程を活用しやすいように改定しました。新しい規程を活用し、今までとは違ったアプローチを模索していきます。そして会員拡大は担当委員会だけが担う事業ではなく、JCI松本の全体事業であることをメンバー全員に訴えていきます。

このまちの魅力をどれだけ語れるでしょうか。「灯台下暗し」ということわざがあるように身近な魅力や個性はかえってわかりにくいことがあります。JCには出向という機会があり、外へ出て初めて気付くこのまちの魅力も多くあります。出向に挑戦するメンバーは、多様な思考でこのまちやJCI松本をより盛り上げてもらいたいと思います。そして、JCI松本には姉妹青年会議所、友好青年会議所との交流があります。先輩諸兄が長きに渡り繋いでくれた深い絆です。今後はメンバー間の交流だけでなく行政、民間と一体になってお互いのまちの魅力や個性を発信し、未来へ繋げていく必要があります。

時代にあった運動を展開し、美しくすがすがしい風を全員で巻き起こしましょう。

専務理事方針

一般社団法人 松本青年会議所

専務理事 中野 英二

すべてを繋ぐ架け橋

JCI松本は、創立以来、多くの諸先輩方が、このまちの魅力と個性を育み、情熱をもってその時代に即した運動をおこし、今日まで歴史を築いて参りました。諸先輩方が築いたこの歴史に感謝しつつ私たち現役メンバーは新たな歴史を刻む責任があります。明るい社会の実現に向けて、今の時代に合致した志向を持って、より広がりのある運動を行っていく必要があると考えます。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で日本のみならず全世界で過去にない甚大な影響を受ける年となりました。私は、2020年度新入会員として、平時の当会議所を知りませんが、逆に有事にしか経験できない貴重な一年間を過ごすことができたと思っております。そこで信頼関係を築き、仲間との絆の大切さを学ぶことができました。この経験を活かし、私は、専務理事として強い「覚悟」と「情熱」を持って和田理事長を支えます。

関わるすべての人と徹底したコミュニケーションを図り、専務理事として下記の目標を達成致します。

- (1) 理事長の補佐
- (2) 事務局内で徹底した連携を図り、役員会・理事会の効果的かつ効率的な運営を行う
- (3) 各委員会との連携を図り、委員会運営をサポート
- (4) 一般渉外及び他の青年会議所、外部団体との連携により組織の活性化を図る

コミュニケーションをとることで、お互いの意見、意思、考え、価値観を共有することができます。そうすることで、当会議所全体が理事長所信に対し方向性をより同じくすることができ、当会議所の更なる発展の一助となると確信しています。

最後に、まだまだ経験の浅い私にも関わらず、専務理事という大任を頂き大きな成長の機会を下さった和田理事長ならびに当会議所メンバーの皆様にご心より感謝申し上げます。

誇りを持ち、颯爽たる雄姿で新しい社会を創造して参る所存です。

事務局長方針

一般社団法人 松本青年会議所

事務局長 上條 僚士

2020年度、新型コロナウイルス感染拡大により、JCI松本は感染症対策を模索しながら行われてきました。新たな議論の方法など昨年の経験から今後活かせることは活かすスムーズな事務局運営を行い、JCI松本会員一人ひとりが、集中して運動ができる環境を整備していきます。そのためにも私自身が青年会議所での運動に対して思いやりをもって行動します。役員会や理事会に対しても思いやりを持って行動することにより、より良い議論が行われるようになればJCI松本の価値も高まり、まちから更に必要とされる組織になると考えます。

また、円滑に会議ができるような設えと効率的に議論のできる場の提供を心掛けます。そのためにも積極的にICTを活用し、前例に捉われず会務システム改善を進めてまいります。そして、JCI松本も自分自身も成長し、次年度にさらにレベルアップした状態で引き継げるよう努力いたします。

今回、事務局長という役職をいただきまして、うれしい反面、責任の重大さに身の引き締まる思いです。思いやりをもって考動し、理事長、専務理事はじめJCI松本会員をしっかりと下支えし、このまちの空に大輪を咲かせるよう一年間走り続けることをお約束して事務局長方針とさせていただきます。

【事務局長運営方針】

- (1) 専務理事の補佐
- (2) 事務局の運営管理
- (3) 役員会、理事会、各会議の時間短縮に向けた改善。

直前理事長方針

一般社団法人 松本青年会議所

直前理事長 小林 篤史

過去と未来を繋ぐ架け橋となる

2020年度の運動の終焉と同時に2021年の新しい運動が始まりました。2021年度は直前理事長として、そしてJCI松本の一会員として、対外・対内において様々なシーンで架け橋となることを目標に活動をしてまいります。

対外事業としては、第63回北陸信越地区フォーラムの主管をさせていただきます。主管青年会議所の立候補をしてから前年度開催地との引継ぎに至るまでは2020年度の理事長として多くのシーンに携わらせていただきました。本年度は北陸信越地区協議会に出向をさせていただく機会もいただきました。北陸信越地区にある67の会員会議所の皆様との友情を育み、松本の魅力を伝えると共に、事業の運営が円滑にそして地域に及ぼす効果の最大化を図れるようにサポートしてまいります。

また、姉妹青年会議所である台南女国際青年商會との交流30周年も両青年会議所の交流の軌跡を辿るとともに、今後さらに発展させる為の大切な機会であると捉えております。ここまで繋いでいただいた両青年会議所の先輩諸兄に感謝の意を示すと共に、現役会員にもしっかりと交流の意義意味を理解してもらおうように背中を見せて行きたいと考えております。

2020年度は先輩諸兄、賛助会員、そしてJCI松本に在籍する全ての会員にお世話になりました。2021年度の運動が昨年よりも、さらに光り輝き、愛する郷土に住まう人々に大きな衝撃と深い影響を与えられるように邁進してまいります。

監事方針

一般社団法人 松本青年会議所

監事 滝澤 顕

2年振りに外部監事として、再び松本青年会議所に2年間お世話になることとなりました。

在籍5年間という短い経験の中ではありますが、頂いた経験から恩を返せるチャンスを和田理事長から頂きました。

昨年発生した、新型コロナウイルスがまだまだ蔓延している世の中ではありますが、この苦境の中だからこそ、青年会議所の存在意義があり、果敢に挑戦できる年であると思います。

松本青年会議所のメンバーの皆さんがこのまちの魅力と個性を未来へ繋げ、颯爽と駆け抜ける姿を、外部監事という立場から後押ししながら、1年間全うしていきたいと思います。

監事方針

一般社団法人 松本青年会議所

監事 平林 正浩

「青年らしき眼差しで」

2020年に卒業の身となりましたが、第62代和田元樹理事長からのご縁を頂き、外部監事を務めさせて頂く事になりました。

2021年度のJCI松本の運動において、全てのメンバーが“青年らしき眼差し”を持って、成長の機会を得ることができ、一人ひとりが“美しくすがすがしい風を巻き起こせる”ように、外部監事として、客観的な視点から方向性や運営全般を監査し、職を全うさせて頂きます。

一年間よろしくお願い致します。

欣逢姊妹會 松本青年會議所

理事長交接暨理監事團隊就職典禮

綵緹 謹代表台南女青商全體會友獻上誠摯的祝福

感謝 小林篤史理事長帶領的 2020 團隊的付出與辛勞

今年因為疫情關係在承辦活動及觀光推動上雖受影響

但仍帶領團隊盡力推展，並發起募款活動支援因暴雨受災的人

兩會的情誼更是透過線上連結而更加緊密並深厚

感謝 小林篤史理事長今年的帶領才能有豐碩的成果

交接不僅是傳承也是承擔另一個責任的開始

相信在 和田元樹理事長及所有理監事和會友的共同努力下

都能依年度工作計畫如期完成，帶領松本青年會議所邁向另一個高峰

更期待明年兩會締盟 30 週年，交流時能激盪出更多的火花

最後 綵緹謹代表台南女青商暨全體會友祝賀

松本青年會議所交接典禮 圓滿成功，會務昌隆

與會嘉賓 身體健康，順心如意



台南女國際青年商會

2021年度 會長 顏綵緹



松本青年會議所、理事役員メンバー及び監事交代就任に際し、台南女国際青年商會を代表して、私、綵緹より心よりお祝いを申し上げます。

まずは、小林篤史理事長を中心とした2020年メンバーの努力と献身的な活動に対して感謝と敬意を評します。

ご周知の通り、本年は新型コロナウイルスの世界的な蔓延により青年會議所の活動も制限を余儀なくされ、相互観光事業も大きな影響を受けることになりました。

その様な状況下においても、豪雨災害に見舞われた被災地への募金活動を機動的に実施するに至るリーダーシップを発揮した小林篤史理事長に対し、改めて感謝の言葉をお伝えいたします。

台南女国際青年商會と松本青年會議所の交流もオンラインに限られつつも、より一層身近に、そして深い繋がりへと成長を遂げました。

理事長の交代は単に役割の交代だけでなく、新たな責任の開始を意味します。和田元樹新理事長はじめ新たに就任される役員、監事の皆様には松本青年會議所の事業計画を完璧に遂行し新たな高みへと導かれることを強く信じております。

私は2021年に予定されている交流30周年事業を非常に楽しみにしております。私たちの関わりの過程が、まさに火花散るような熱いものになるはずです。

最後になりますが、台南女国際青年商會を代表して、私、綵緹より松本青年會議所の理事役員交代が盛大に執り行われたことを改めてお祝い申し上げます。

皆様の健康とご多幸を祈念しております。

台南女国際青年商會

2021年度 會長 顏綵緹

委員会事業計画

2021年スローガン

颯爽たれ

総務組織変革委員会

◎松岡 一成 ○古畑 晋平
 松田 恵明 横井 和雄
 長田 玲香 甕 貴英
 由比ヶ浜宏 沈 仲達

1) 委員会方針

新型コロナウイルスは2021年も社会に影響を与えられ続けます。今後新型コロナウイルスの第2波、第3波、もしくは新たな感染症が蔓延すれば松本青年会議所の活動は制限せざるを得ません。しかし、2020年に私たちは歩み始めた。私たちはその歩みを制限することなく、さらにその先へ加速していくためには新たな知識と経験を蓄積していくことが持続可能な活動に向けていく礎となります。

コロナ禍において多くの人の考え方やライフスタイルは変化し新しい生活が始まりました。それは人の心にも大きく影響をあたえ、「思いやり」や「感謝の心」がコロナ禍の社会を支えています。刻一刻と変わる人と社会の変化に対応していく必要があります。当委員会では各会員のライフスタイルにも寄り添いながら全員で走り続けられる組織を目指して、以下の点を重視し活動して参ります。

【環境に適応した総務運営】

経済活動の変化で、環境に影響を与え、環境に活動を変え、環境に活動に必要と捉え、紙の削減・資源の節約を目的としつつも環境に配慮した総務運営がJ C活動に必要と捉え、紙の削減・資源の節約を目的としたデジタル化への取り組みを進めます。例会や事業の際には、いまだ事務手続きやアナログでの接点機会が多く見られます。次世代デジタル技術を活用することでできる限り事務手続きを低減し、接点のないデジタル化を促します。そうすることで本来必要な接点機会を減らすことなくJ C活動を活発化させていきます。

【新しい生活様式と組織変革】

多様性(ダイバーシティ)という言葉が日本に広がり始めてから、LGBTsに象徴される性別、そして国籍や年代、職業など社会の意識変革がおきています。率先して活動をしていくため、特に対内運営においては旧来の価値基準を革新し、他者を理解し、組織もその在り方を尊重できるように運用を検討・実施します。

【基金活用にに向けた検討】

松本青年会議所の多くの先輩方が積み上げてくださった基金を、私たち現役員がどのように運用していくのかを考え、まとめ、伝えていく機会を創出します。いずれ訪れる「必要なトキ」に迅速で確実な方法をもって活用するために行動を起こします。

《松本青年会議所とは何かを考える機会の創出》

メンバーの学ぶ機会の創出を検討し、必要な時に実施できる準備を常に行います。

3) スケジュール

事業名	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
①123回定時総会														
②DX活用事業	調査・分析・企画		→ 実施	→ 調査・分析	→ 企画	→ 実施	→ 調査・分析	→ 企画	→ 実施	→ 調査・分析	→ 企画	→ 実施	→ 調査・分析	→ 企画
③3月第二例会	調査・分析													
④6月第一例会	調査・分析													
⑤7月第二例会	調査・分析													
⑥第124回定時総会														
⑦組織変革事業														
⑧12月第二例会														

2) 事業計画

①事業名：123回定時総会
 目的：第2部：2021年度委員会方針、予算承認。第3部：2021年度松本J C運動方針の外部への発信。来賓のおもてなし。

方法・手段：・各方針の情報共有。
 ・新しい生活様式の徹底。外部に対して運動方針の発信。

②事業名：デジタル技術(DX)を活用した次世代の会務運営事業

目的：DXについての知識を深めることで、スムーズで健全な会務運営を可能にする。
 方法・手段：・DXを推進している事業者による勉強会
 ・松本青年会議所での活用方法の検討

③事業名：3月第二例会

目的：基金の理解を深め、いつか来るその活用方法についての現役メンバーの意識合わせを行い、シニア会に提言する。
 方法・手段：・基金の歴史発表(活用事例・存在理由)
 ・基金の活用方法の検討・集約

④事業名：6月第一例会

目的：ダイバーシティの時代に適応するため、必要な変革を調査・分析し共有する。
 方法・手段：・10年後のあるべき姿の創出
 ・組織変革に必要な知識の共有

⑤事業名：7月第二例会
 基金活用と定款の変革事業

目的：基金活用のシミュレーションを行い、「必要なトキ」に使用できるという意識付けを行うとともに実際に実行行動の準備とする。
 方法・手段：・基金活用のスキームを検討
 ・検証、分析及び結果の提言。

⑥事業名：第124回定時総会

目的：第124回定時総会：次年度理事長所信・組織の承認。
 方法・手段：・総会の出席確認、委任状提出の徹底。
 ・厳粛かつ円滑な総会運営。

⑦事業名：ダイバーシティ化を目指した組織変革事業

目的：会議や事業への参加に必要な取り決めについての検討・検証し多くのメンバーが参加しやすい新たな組織体制の創造。
 方法・手段：・メンバーへの事前調査の共有
 ・組織として必要な変革とは何かを提言

⑧事業名：12月第二例会

目的：卒業生の熱い想いを語っていただき、残るメンバーの飛躍に繋げる場とする。
 方法・手段：卒業生の学び、経験、知識、想いを、残るメンバーへ引き継ぐ場を提供する。

レジリエント委員会

◎柳沢 昌司 ○宮坂 豪
石曾根健司 小野 大輔
濱 莞二 松井 愛実
切手 拓也

1) 委員会方針

【人と人 地域と世界を繋ぐ礎となる】

我々、レジリエント委員会は、愛し守るべき郷土と大切な人々のために、多様な価値観の尊重と青年らしい発想と行動をもって、持続可能な地域社会の新时代を切り拓き、強靱で古き良き文化を未来へ繋ぐ責務を果たします。

多様な価値観を学び、自らが進化の起点となり、地域を牽引する原動力となろう！

1966年、JCI松本の創立7年目に「創始の精神」を受け継ぎ、次代に繋ぐために多くの先輩諸兄が地域の未来を想い、覚悟をもって北陸信越地区フォーラムをこの松本の地で開催致しました。そして本年、1993年以来28年の時を経て、公益社団法人 日本青年会議所 北陸信越地区協議会 第63回地区フォーラムを主催致します。いまを生き、いまを生きるから新たな挑戦をすべき我々が、多くの先輩諸兄がこのまちを想い、積み重ねてきた努力の結晶に新たな可能性と感性を融合させた運動を創出して、新たな社会の在り方を考え、多くの人々に我々の考えを未来への想いを伝播する機会を創出します。北陸信越地区に所属する各地委員会メンバーとの友情を育み、JCI松本に所属するメンバーの確固たる当事者意識の醸成と確かな成長を通じて、強いつながりから生まれた共感とともに生きた証を刻み、地域発展という美しい物語と多くの感動を松本の地から発信していきます。

近年の気候変動等により、予測不能な豪雨（雪）や地震などの自然災害が日本各地で多発しています。「今まで経験したことが無い。」と言われるほど、甚大な被害に至るケースが多くなって生活や災害復旧現場での感染症対策が必要に迫られ、これまでの状況とは異なった防災・減災意識、災害時の行動が求められています。さらに、東日本震災、長野県北部・中部地震から10年が経ちます。過去の経験を生かして、次なる災害に備える時と考えます。また、JCIのネットワークを最大限に活用して、有事の際にも具体的行動をもって、その責務を地域へ示していきたい。あらゆる世代の賢い生命と郷土の財産を守る強靱な自助・共助・公助の確立と関係団体との更なる関係構築を推進して、我々の存在が地域にとっての生きた教訓となるよう行動していきます。

2) 事業計画

①事業名：2月第一例会
目的：・地区フォーラムの開催意義を理解する。
・地区フォーラムの当事者意識醸成を図る。

③事業名：防災意識向上事業
目的：・災害に対する正しい知識を得る。
・自助、公助、共助の在り方を知り、次なる災害に対する対策を講じ、防災スキルの向上を図る。

方法・手段：・地区協議会との意識統一を図る。
・松本大会の取組・検証。
・関連諸団体との連携。

方法・手段：・有識者との意見交換、関連諸団体との連携、共同事業の実施。
・各世代に対する行動喚起として、出前講座、防災訓練、防災フォーラム等を実施。

②事業名：地区フォーラムに関連する事業

目的：・松本の新たなまちづくりを発信、市民参加型の世界基準のまちづくりを実践する。
・地域特性や強みを考えた事業の実施。
方法・手段：・地区協議会、関連諸団体との連携。

④事業名：10月第一例会

目的：・当会議所の存在意義を発信する。
・個人、企業、地域においての必要な行動・活動を明確にする。
方法・手段：1年間の事業から検証した内容を市民目線で発信する。

3) スケジュール

事業名	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
①2月第一例会	調査・分析 企画			実施→	検証・報告 ↓									
②地区フォーラム事業				実施				実施			検証・報告 ↑			
③防災意識向上事業				実施							検証・報告 ↑			
④10月第一例会								企画					実施→	検証・報告

次世代の学び推進委員会

◎今関 尚子 ○飯田 樹 ○今井 泰司
 赤羽俊太郎 大嶋 尚志 片瀬 悠
 倉科 俊浩 濱 雄大

1) 委員会方針

誰もが思い描いていたものとは全く違う姿ややってきた2020年。これまでの生活や価値観、子どもたちを取り巻く環境までも大きく変わりました。これからは「新しい生活様式」に基づきながら、子どもたちの生きていく力をどう育むのか、次世代のあるべき「学び」をどのように推進していくのかが問われています。新しい教育の形が求められ一方で、子どもたちの日常に不安やいらだちが溜み膨らんでいる問題も見逃ごせません。希望と深刻さの間において、私たちが次のフェーズを自分たちの手で作る機会を手に入れました。年間を通じて人と繋がり、対話から生まれる共感を大切に、社会に必要とされる意識改革を行なっていきます。変化を楽しむ、まさに転換期。そんな時代の、わたしたちの役割とは。

【松本次世代教育事業】

学校が止まったことにより学びも止まり、教育格差が現実的になった2020年。奇しくも同時にスタートしたSociety 5.0時代の到来を見据えた新学習指導要領の全面実施、そしてその実践を支えるためのGIGAスクール構想や、学校と地域の連携などの取組みも推進されています。私たちは「学都松本」の歴史を振り返り、2020年代を通じて実現をめざす学校教育の在り方と教育改革の方向性を確認し、多様な子どもたちの能力に合わせた「だれひとり取り残されることのない、個別最適化された学び」を実現をするため、「この課題が解決できる」「こういう解決策も取りうる」という前向きな議論を、市民、行政、教育現場、子どもたちと共に行います。これまでにないテクノロジーを含めた先進的な手法を用いた解決策を見出すことは、松本というローカル社会に暮らす我々が未来を見据える上で価値あることです。当会議所が考える多面的な次世代教育のあり方、学びのあり方を考え、共有し、発展させます。

【エール事業】

様々な立場・環境に身を置き青少年が、誰一人取り残されず明るい未来を描けるようにするため、現在の学校教育の弊にとらわれない「新たな自己実現の枠組み」を構築することで、「だれひとり取り残されない、自分らしい居場所や活躍の場づくり」のきっかけを創出します。「居場所」は、自分の力で見つけ、自分の力で作り上げてほしい。大人から与えられる居場所よりも、きつと生きていく力になります。その力は、未来の彼ら彼女らを支えてくれるはずです。その背中を押すのは、私たちです。

3) スケジュール

事業名	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
① 3月第一例会	調査・分析 企画			実施 →	実施 →	検証 →	実施 →	検証 →	検証 →					
② 松本次世代教育事業	調査・分析					検証 →	実施 →	検証 →	検証 →					
③ エール事業 エール事業、キミトエール エール事業、ジャン(ロドリ)	調査・分析 企画				調査・分析	検証 →	企画 →	実施 →	実施 →					
④ 11月第一例会	調査・分析												実施 →	検証 →

2) 事業計画

① 事業目的：受け継ぐものと必要な改革を共有し、現在の学校教育が抱える課題を考える。地方都市松本の「教育」のあるべき姿への、ポイントなアクションのスタート地点にする。
 方法・手段：I 『学都松本』『松本青年会議所』の教育事業の歴史、次世代教育に関する調査発表
 II 専門家による現状の共有
 III 委員会の取り組みの提案

② 事業目的：松本次世代教育事業

目的：次の時代の教育を市民と考える機会を作り、これまでの概念を突破しうる意識変革をもたらし。
 方法・手段：I 市民、行政、企業が課題を共有し、フラットな議論を巻き起こす。
 II これからに繋がるアクションプランを作る
 III その他関連する事業

④ 事業目的：11月第一例会

目的：地方都市松本の理想的な「教育」「学び」とはどのようなものなのか。次世代に向けた青年会議所としての教育事業のあり方を共有し、これからの歩みの起点となる提言を行う。
 方法・手段：I 事業の振り返りと検証をメンバー間で行う
 II 松本の教育を体現できる環境で行う
 III 委員会としての提言「私たちの役割とは」

③ 事業目的：エール事業

目的：与えられた環境、生まれ育った環境を超えて、新たな出会いや共感の中で生まれる体験や経験により、その子ならではの「自分の未来をつくる力」を育む
 方法・手段：I 好奇心や創造力を起点にした、「やってみたい」を大切にしたい学びの機会を作る
 II 実際に見たもの、経験したこと、景色や驚きから、探究の学びをつくり、支える
 III 前向きに未来へと進む機会の提供

NEW経済委員会

◎中村 勇一 ○県 国佳
朝井 宏昭 薄隅 雄樹 小林 諒平
篠原 翔一 三沢 祐樹

1) 委員会方針

NEW経済委員会は、誰一人取り残されない社会の構築のために、今までの自己利益追求型の経済第一主義ではなく、環境や生命本来の豊かさを追求した、優しい経済活動として注目されている「ソーシャルビジネス」を創造していきます。そして、既存の固定概念にとらわれず、多面的な視野を持ち、新しい経済社会の在り方を常に考えていく、次世代のNEW経済リーダーを一人でも多く生み出すきっかけを創ります。また、当委員会の考える「JCI松本×ソーシャルビジネス」を展開すること、このまちから社会的弱者が一人でも多く救済される持続可能な社会・経済の実現を目指します。

【JCI松本×ソーシャルビジネス】

2020年は世界的な経済活動の停滞により経済・人の働き方に大きな影響がありました。経済活動が再び戻る中、元の経済活動に戻すべきか、それとも新たな経済活動を模索するべきか考える機会があったと考えます。また「新しい働き方」という言葉が、様々なメディアで見聞きされるようになりました。「新しい働き方」に対する様々な情報が溢れる中、当委員会では既存の経済価値概念とは異なる「ソーシャルビジネス」こそ、これからの社会が目指すべき「新しい働き方」であると考えます。

「ソーシャルビジネス」は、SDGsの掲唱者の一人であり、ノーベル平和賞受賞者のムハマド・ユヌス博士が、自身の著書で定義したビジネスです。「ソーシャルビジネス」では、自分の利益だけを考えてビジネスをするのではなく、まわりの人のことを考え、思いやりに満ちた「利他の心」を持って、より明るい豊かなまちに変えていくビジネスです。

企業や、このまちのリーダーである我々が率先して理解を深め、また現在このまちで行われている「ソーシャルビジネス」について活動家から現状をしっかりと学び、過去のJCI松本の事業にヒントを得ることで、今後このまちに必要な新しい仕組みを考え、誰一人取り残されない社会のための事業を展開します。

「まずはできることから行動を！」を合言葉に、颯爽と取り組んで参ります。

3) スケジュール

事業名	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
①4月第一例会														
②「JCI松本×ソーシャルビジネス」発信	調査・分析			企画		実施	検証	実施				検証		
③「JCI松本×ソーシャルビジネス」創造	調査・分析					企画	企画		実施			検証		
④「JCI松本×ソーシャルビジネス」継承	調査・分析										企画		実施	検証

2) 事業計画

①事業名：4月第一例会
目的：ソーシャルビジネスについての理解と見識を深める。

方法・手段：I ソーシャルビジネスの概要。
II このまちにおける課題とソーシャルビジネスの現状について調査分析公表。
III 「JCI松本×ソーシャルビジネス」の提案。

②事業名：「JCI松本×ソーシャルビジネス」発信編
目的：このまちで必要とされている新しいビジネスの認知度を向上させる。

方法・手段：このまちの諸団体と共に、新しいビジネスについて発信する。

③事業名：「JCI松本×ソーシャルビジネス」創造編
目的：次世代のNEW経済リーダーを生み出すきっかけをつくる。

方法・手段：I 新しいビジネスを諸団体と共につくる。
II 新しいビジネスを実施する。

④事業名：「JCI松本×ソーシャルビジネス」承継編
目的：持続可能なソーシャルビジネスの必要性を示すきっかけをつくる。

方法・手段：I これまでの事業を振り返る。
II ソーシャルビジネスの必要性を伝える。

観光響和委員会

◎増田 春樹 ○長瀬亜沙美
 斉藤 佳典 高山 浩明
 本柳 誠美 百瀬友志紘

刈崎 文夫
 山口 隆徳

1) 委員会方針

日本語における「観光」という言葉の意味は幅広い。まずは、観光する側 (Sightseeing)、観光客を誘致する事業 (観光産業) は「まちづくり」と「PR (Public Relations)」に分けられ、「まちづくり」に関しては「自然」、「文化」、「遺産」、「店・ホテル」、「食」、「交通インフラ」、「教育 (修学旅行)」、「スポーツ」、「エンターテインメント」など、我々青年会議所の活動と密接に関係している。ポストコロナ時代において、日本そして世界から愛され、二度三度訪れたいと思える観光都市となるために、JCIだからこそ可能な活動を年間通じて行い、明るい未来を開拓していきたい。

【2021年度観光響和委員会活動の2本柱】

①沖繩・宮古島 (JCI) との響和

「自分が住み暮らす土地では味わえない体験をする」これこそが観光の醍醐味の一つである。私たちは過去二年間に渡る宮古島との交流を通じ、宮古島の持つ自然、文化、風土、人の温かさなどに触れ、この魅力をもっと多くの方々に知っていただきたいと強く感じるようになった。もし、宮古島と松本が繋がれば「東洋一のビーチ」と「日本の屋根の大自然」を結ぶ世界屈指の観光ルートになる。その実現に向けて、本年度も新規就航へ向けた橋渡しを行っていく。

②信州まつもと空港を活かした観光産業のPR※ (発信)

昨今の社会情勢により、海外旅行や日本の大都市への観光が気軽にできなくなってきた。以前にも増して地方への観光が注目され「LOCAL to LOCAL」という言葉の通り、地方から地方への観光という新しい価値観が広まっている。その中で地方から地方へダイレクトに行くことができる信州まつもと空港を活用した観光を、松本市民や就航先の人々に新しい選択肢として取り入れていただきたい。また、地方空港を有する者同士が互いを知り、理解を深めれば、新たな可能性を見出すことができるはずだ。

とはいえ、その為には積極的なPRを通じて、まずは認知していただかなければ発展は見込めない。今更以上にJCI松本の各委員会、各地委員会、各団体、行政などと連携を取り、共に松本の可能性を発信し、世界基準の自然や文化を有する松本や近隣地域の魅力を知っていただき、このまちの更なる活性化に繋がってほしい。

※ PR = プロモーションであり、一方的な「宣伝」ではなく、「公衆の良い関係づくり」という意味である。

2) 事業計画

①事業名：食文化で結ぶ！松本の魅力再発見
 目的：他文化との交流を通じてお互いの違いを知ること、このまちの魅力を見直す。過去に培われた宮古島との連携をより強固なものとする。
 方法・手段：JCI宮古の方々との交流機会を創出する。食をメインテーマと捉えた事業を実施する。

②事業名：7月第一例会

目的：空港を含めた松本の観光産業の現状について理解を深める。さらに、空港を活用した観光の更なる可能性や、このまちの特色を生かした観光の在り方を考察し、その後の事業展開に繋げる。
 方法・手段：松本の魅力を認識するために、調査・分析を行い、観光産業の問題点や空港の利活用のあり方を検証する。

③事業名：松本の空を熱くする2021
 目的：より多くの松本市民や松本市の近隣地域の人々に信州まつもと空港や飛行機を利用した観光の魅力を感じてもらおう。新規就航、そして信州まつもと空港の利用を促すための機会を創出する。
 方法・手段：信州まつもと空港の利用促進に繋がる事業を実施する。

④事業名：松本の可能性発信【連携事業】

目的：日本そして世界から愛される松本になるために、まずは「信州まつもと空港を利用してみたい」「松本を訪れたい」などと空港を有するJCI、そしてその地域の人々に思っていただけ。
 ・空港を有する者同士が理解を深めて、新たな可能性を見出し、発信する。
 方法・手段：年間を通じて学んだ松本の魅力、今後の松本の可能性を発信する。
 ・空港を有する各地委員会を松本に招待し、JCI松本の各委員会と連携した事業を実施する。

3) スケジュール

事業名	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
①JCI宮古との交流事業	調査・分析			企画			実施	→ 検証						
②7月第一例会	調査・分析					企画								
③松本の空を熱くする2021	調査・分析				企画								実施	→ 検証
④松本の可能性発信	調査・分析				企画								実施	→ 検証

ヘリテージ継承委員会

◎青木 崇 ○花岡 智
 赤穂 大樹 新井健太郎 加藤 千尋
 川手 和磨 神澤 佑樹

1) 委員会方針

市民の誇りとアイデンティティを形成するのは、地域固有の自然、歴史と、その中で築かれてきた文化、芸術、そして文化財であり、これらを次世代に引き継ぐことは今を生きる我々の責務です。当委員会では、これらのうち地域固有のものをヘリテージと定義付け、青年会議所メンバーと本質的に見つけ直し、市民を巻き込みながら、創造性溢れるクリエイティブシティの実現を目指し、繋がりを形成し、市民を巻き込みながら、創造性溢れるクリエイティブシティの実現を目指します。そして、文化薫るまちを未来に継承するとともに、継承に関わる課題の持続可能な解決策を探索します。

【なぜ今、文化芸術に取り組むのか】

新型コロナウイルスの蔓延により経済活動が停滞する中、文化芸術も存続していく上での様々な課題に直面しています。このような時勢だからこそ、地域固有の文化を守る活動に取り組む必要があります。歴史を振り返ると、ポスト蔓延後のルネサンスに見られるように、ハンデミック後の世界の再構築にあわせて文化芸術運動が起こることがあり、将来を見据えて我々は次の文化拠点都市としてのメッセージを発信すべきです。また、コロナ禍において地域資源と向き合う時間的猶予が与えられた今、我々は先人から引き継いだ目の前にある貴重な資産を、市民の手で磨き直す絶好の機会を得ています。

【松本城を後世に継承するキーワードは、お城への愛】

この地域における文化的シンボルは松本城です。400年の歳月が経った今も我々の前に雄大に聳え立つのは、幾度とない危機を市民の手で乗り越え、幾人もの地道な活動に支えられてきたからです。時代の変遷とともに価値観が多様化する中で、改めて市民が地元文化財に愛着を持ち、継承するための発信を続けることが必要です。

【三ヶ谷都から、一人ひとりに創造性をもたらすクリエイティブシティへ】

美しいものやセンスの光るものに触れたとき、誰しも高揚感を抱いたり、インスピレーションが降りてくる経験をしたことがあるはずですが、これらが一部のコミュニティだけでなく、広く人々に共有され、日常生活や仕事にクリエイティブさが発揮されてこそ、このまちは文化薫るガク都と言えるでしょう。合理性が飽和した時代、直感と感性を大切に市民と、彼らに支えられるアーティストの好循環が生まれれば、結果的に文化芸術溢れるまちを次世代に継承することに繋がります。

2) 事業計画

①事業名：I LOVE 松本城事業
 目的：人々の松本城に対する愛着を醸成することで、松本城を後世に継承するきっかけを作るとともに、文化財への市民意識を向上させる。
 方法・手段：松本城に関する情報発信や人の繋がりを等工夫し、広報戦略を描くことで、人々に松本城への愛着を抱かせる取り組みを展開する。

②事業名：ヘリテージ再発見事業
 目的：このまちにある地域固有の自然、歴史と、その中で築かれてきた文化、芸術、文化財に改めて市民の目を向けさせて、この地域におけるヘリテージの価値と魅力を共有する。
 方法・手段：このまちの特性、強みを整理し、アーティストや文化関係者と地域資源の新しい繋がりを形成した上で、広報戦略を展開することにより、市民に発信する。

③事業名：9月第一例会
 目的：文化芸術との向き合い方や、日常生活や仕事で一人ひとりがクリエイティブな活動をしていることを知ってもらい、市民の価値観と意識を改革する。
 方法・手段：専門家を招聘し、クリエイティブなまちづくりと市民のあり方についての見解を共有する。そして、地域で活動する方々と市内の事例や歴史を共有し、これから目指すべき文化的まちづくりの方向性を示す。

④事業名：松本ルネサンス事業
 目的：ヘリテージの再発見を踏まえ、「クリエイティブシティ松本」のライフスタイルを提唱することで、市民の意識変革と主体的な文化振興活動のきっかけとする。
 方法・手段：アーティストや文化関係者と地域資源の新しい繋がりを形成し、今ある文化芸術との関わり方を共有することで、「クリエイティブシティ松本」におけるライフスタイルを市民に体験させる。

3) スケジュール

事業名	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
① I LOVE 松本城事業	調査・分析				企画			実施	検証					
② ヘリテージ再発見事業	調査・分析							企画		実施	検証			
③ 9月第一例会	調査・分析										実施	検証		
④ 松本ルネサンス事業	調査・分析												実施	検証

広報拡大委員会

◎足立 諒 ○伊勢 夏子 大貫 心
 新井さやか 海川 泰 茂住 貴之
 嵯島 正貴 大門 徳久

1) 委員会方針

多くのつながりがをツクル1年にします。
 よりよい運動、より大きな事業を展開するためには、多くの賛同を得て、多くの仲間とともに課題に向き合い、解決していくことが必要です。より賛同を得るために松本青年会議所（以下JCI松本）の活動をさまざまな方々に認知していただき、共感が得られるように発信を行っていき、志を同じくする仲間を作っていく必要があります。
 以下の3つを今年度の方針として掲げ、運動を推進していきます。

1. 組織的な広報

委員会における事業の広報戦略は多種多様です。委員会ごとに考えることによって、メンバーが広報を意識できる可能性は与えられますが、JCI松本として効果的で効果的な広報ができていないとは言えないところがあります。広報戦略のパッケージ化を図り、今までの成功事例を基にJCI松本の広報の型を作り、より効果的で、より効果的な広報を行うことにつなげていきます。

2. 多様性のある組織に向けた会員拡大

より良い運動を展開するためには、より多くの視点から物事を捉え、質の高い議論を行っていく必要があります。そのためには会員の多様性が不可欠です。
 会員拡大はJCI松本の全体事業であることをメンバー全員に訴えかけ、全員で取り組みます。会員拡大を通してメンバーの成長を促し、今後の組織の発展につなげていきます。

3. 出向経験の共有

JCIには出向という機会があります。松本圏域の外へ出ることで、このまちの魅力があつたり、JCI松本の魅力であったり、色々なものを再認識する機会に溢れています。その財産を出向者個人のものとせず、メンバーにその知見を共有していきます。

2) 事業計画

①事業名：広報事業
 目的：・事業や活動を発信し、会員拡大につなげる

・効果的な広報運営をする
 ・メンバーの活動を共有し、運動の熱を伝播することで、よりよい事業につなげていく

方法・手段：・SNS (Facebook、Instagram) 更新
 ・HP更新
 ・広報活動の標準化
 ・シニア会への定期訪問
 ・拡大用パンフレット制作、配付

②事業名：5月第一例会

目的：・異業種の方々との交流を通して、JCI松本の運動への理解を深めていただく
 ・会員拡大につながるよう多くのつながりを作り、紹介者を募るきっかけにする

方法・手段：・異業種交流会
 ・JCI松本の事業説明
 ・広報の手法を具体的に学ぶ

③事業名：知名度向上事業
 目的：・市民にJCI松本を広く知っていたり、会員拡大の機運を醸成する

・多様性のある組織運営を通して、より多くの世代から共感を得られるようにする
 方法・手段：・先進性や集客性のある運動を行う
 ・他団体や学生と協力し、事業活動を行う

④事業名：出向者報告・壮行会

目的：・出向経験を共有する
 ・出向への理解を深め、メンバーの機会の提供につなげるきっかけにする

方法・手段：・出向者からの報告
 ・次年度出向予定者の紹介

⑤事業名：12月第一例会

目的：・1年間を振り返り、各委員会の目的達成状況を検証、共有
 ・広報、拡大活動の検証と次年度へ共有

方法・手段：・2021年度の事業活動の振り返り
 ・広報、拡大活動の結果報告、検証

3) スケジュール

事業名	月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
①広報事業		調査・分析	企画	実施									検証		
②5月第一例会					企画				実施						
③知名度向上事業															
④出向者報告・壮行会															
⑤12月第一例会				調査・分析 調査・分析	企画				企画				実施	検証	実施・検証

未来のJAYCEE育成委員会

◎上原 聖二 ○間瀬 大吾

- 1) 委員会方針 『大きな枠組みで物事をとらえ、地域で躍動する人財へ』
 ~新しい仲間へのメッセージ~
 ◇コンフォートゾーンから一歩踏み出そう！
 ◇新たなステーションに深く関わり、人生の転機としよう！
 ◇新しい概念と向き合い、多様な主義主張をプラスに変換しよう！
 ◇かけがえのない経験や達成感として感動を表現し、学びへと昇華しよう！

【青年会議所の基礎の習得】
 社会への奉仕：事業には目的がある。常に目的意識を持ちながら一つの事を成し遂げる経験をし、事業構築の基礎を習得してもらいます。また、気持ちを切らすことなく報告・検証も大切にし、事業を重ねることに明確な進化や成長に繋がります。
 個人の修練：新しい環境での経験は、全てが修練と言えるかも知れません。同期メンバーと苦楽を分かち合い、そして高め合い、最後には笑顔で締めくくれるように導きます。
 また、達成感や感動を決して体験だけでは終わらせないよう言語化し、更には表現をすることにより深い学びへと昇華させます。
 同期の友情：同期の関わりは一生の友情となります。多様なメンバーの個性を存分に引き出し、明るく前向きでチャレンジングな「ONE TEAM」を形成していきます。

【姉妹青年会議所・友好青年会議所との連携】

世界との友情・他地域との交流：これまで新入会員が、世界や国内の姉妹青年会議所・友好青年会議所との友情を築く主役となることはほとんどなかったと思います。2021年は、この機会の提供を存分に活かし、「相手を深く知る」「リスペクトし学ぶこと」「おもてなしの心」を大切に、「私たちの交流」から「市民間での交流」といった視野を広げた思考で物事を考えられるような、魅力あるJAYCEEとなるよう全力で導きます。

2) 事業計画

- ① 事業名：メンバーレトリニング
 目的：運動の本質を理解し、資質の向上・修練・自己の表現の場とする。
 方法・手段：・例会せしモニーの設営・運営。
 ・理事会議事録作成の実施。
 ・シニアとの交流及び取材。
 ・3分間スピーチ。
- ② 事業名：松本子どもまつり
 目的：・対外事業を通じ、企画運営能力を養う。
 ・事業を通じ、新入会員間での仲間意識を高める。
 方法・手段：・松本青年会議所プールの企画・運営。
 ・松本子どもまつり実行委員会への参画。

- ③ 事業名：8月第一例会
 目的：・世界との友情の重要性の共有。
 ・台南女国際青年商會交流30周年事業に向けた意識の高揚。
 方法・手段：・LOMの発展のみならず、このまちの発展
 ・を国際的な視点を交え考える場とする。
- ④ 事業名：台南女国際青年商會交流30周年事業
 目的：・国際交流をこのまちの発展に繋げる。
 ・台南LJCとの友情の再確認・発展の機会の創出。
 方法・手段：・これまでの交流への感謝を表す。
 ・台南LJC来松・おもてなし。
 ・台南LJC×市民×JCI松本の交流。
 ・30周年記念式典の企画運営。

3) スケジュール

事業名	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
①メンバーレトリニング	企画	—	—	実施	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
②松本子どもまつり	—	—	調査・分析	企画	—	企画	—	実施→検証	—	—	—	—	—	—
③8月第一例会	—	—	調査・分析	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④台南LJC交流事業	—	—	調査・分析	—	—	—	企画	—	—	—	実施	実施(予備)	—	—

2021年度 出向者一覧

公益社団法人日本青年会議所

地域グループ

1	質的価値創造会議	委員	淵崎文夫君
2	サマーコンファレンス運営特別委員会	委員	本柳誠実君
3	持続可能なビジネス推進委員会	委員	小野大輔君

国家グループ

4	国土強靱化委員会	委員	柳沢昌司君
---	----------	----	-------

国際グループ

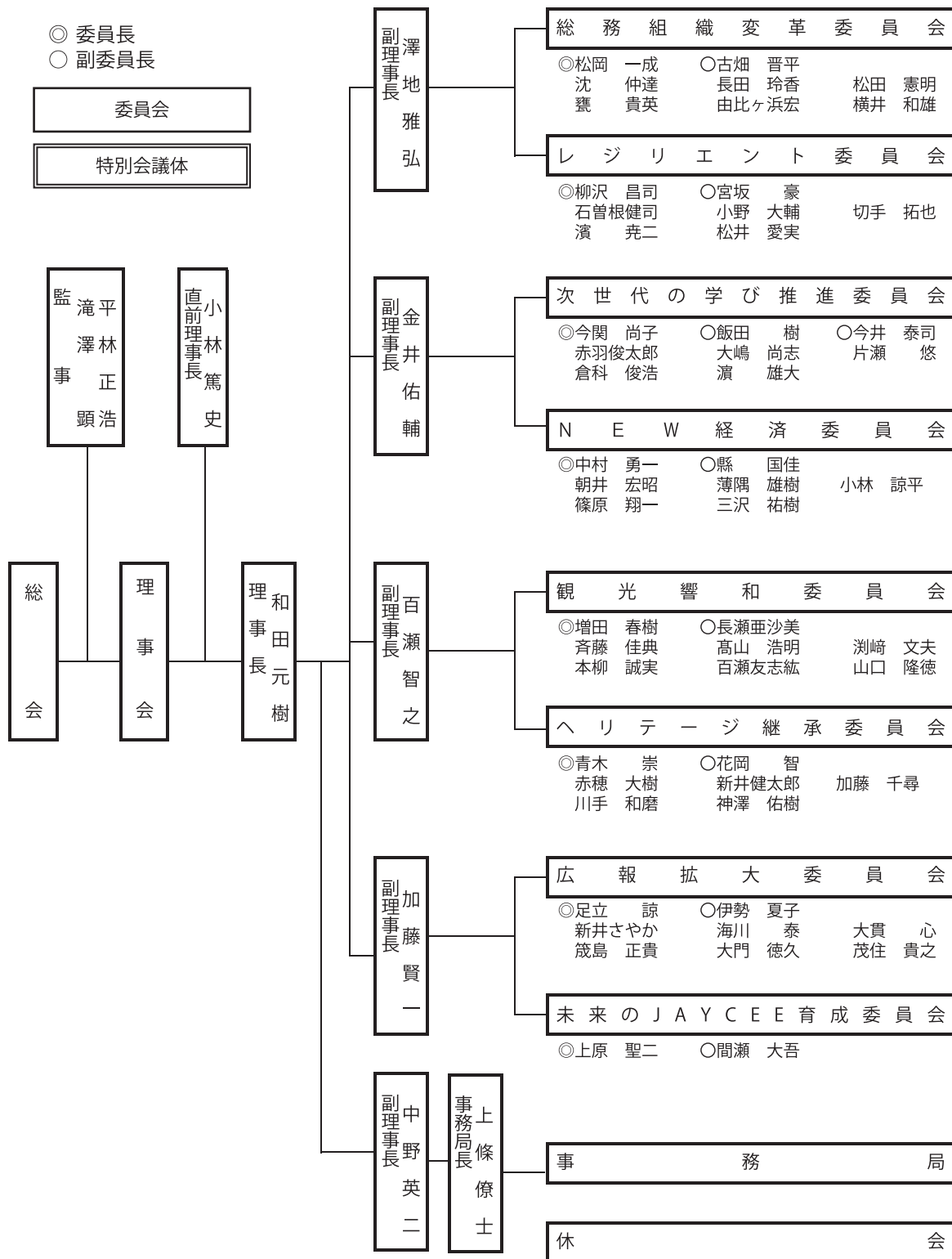
5	アジアアライアンス構築委員会	委員	小林諒平君
---	----------------	----	-------

北陸信越地区協議会

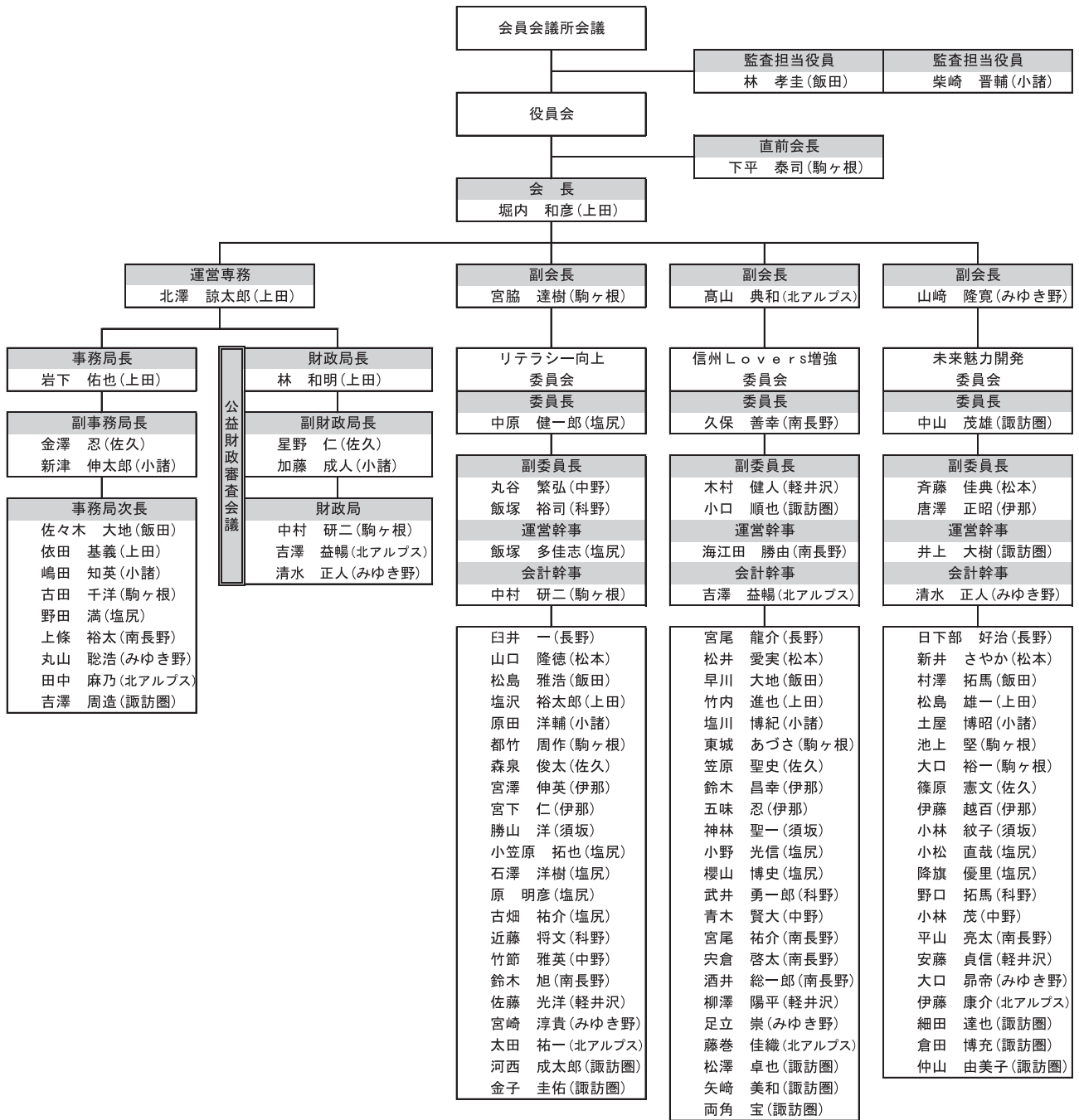
6	監査担当役員	役員	小林篤史君
7	地区フォーラム運営委員会	委員長	松田憲明君
8	〃	運営監事	片瀬悠君
9	〃	委員	濱堯二君
10	地域レジリエンス	委員	川手和磨君
11	事務局	副事務局長	切手拓也君

長野ブロック協議会

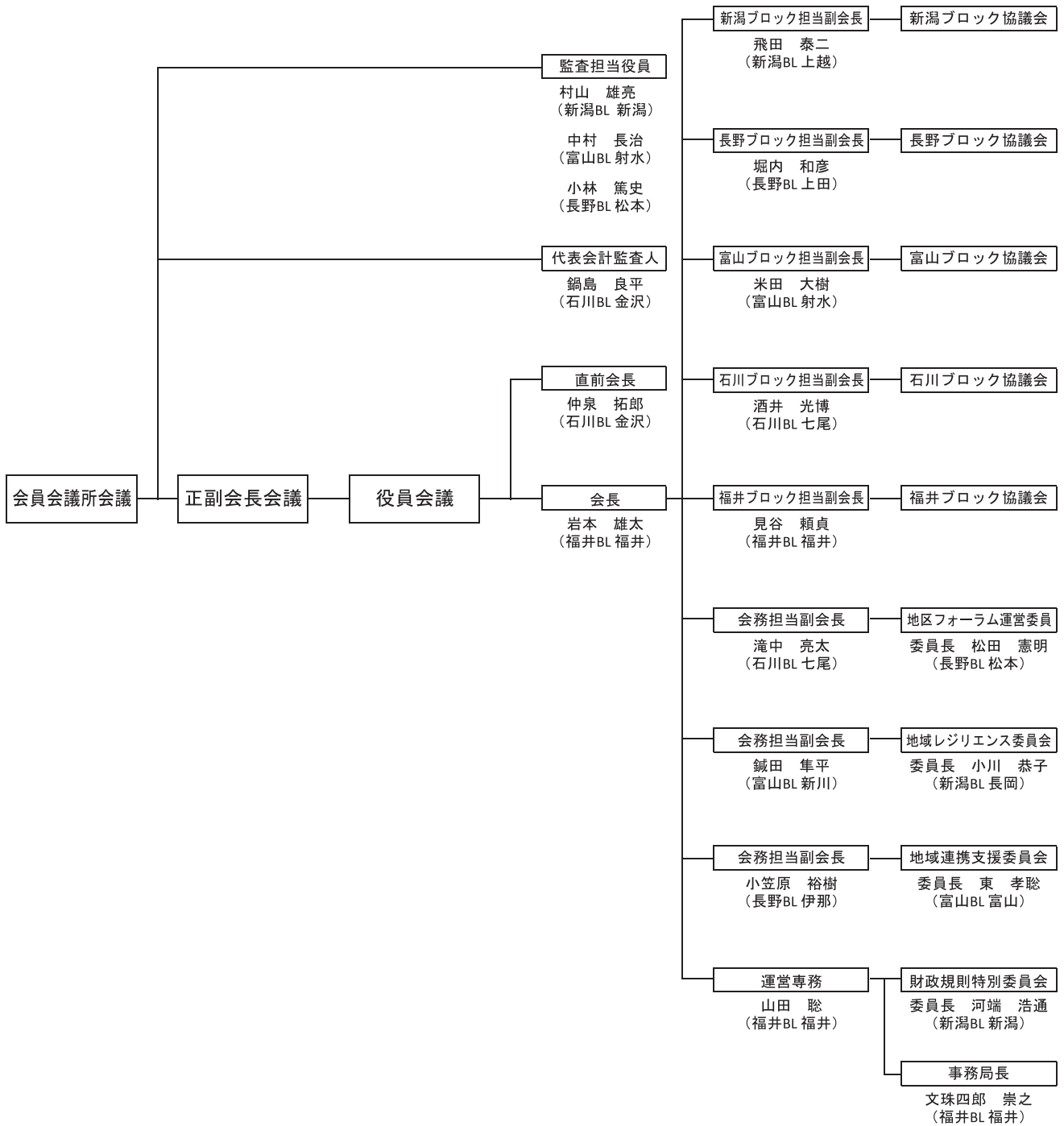
12	未来魅力開発委員会	副委員長	斎藤佳典君
13	〃	委員	新井さやか君
14	リテラシー向上委員会	委員	山口隆徳君
15	信州Lovers増強委員会	委員	松井愛実君



2021年度 公益社団法人日本青年会議所 北陸信越地区 長野ブロック協議会 組織構成図

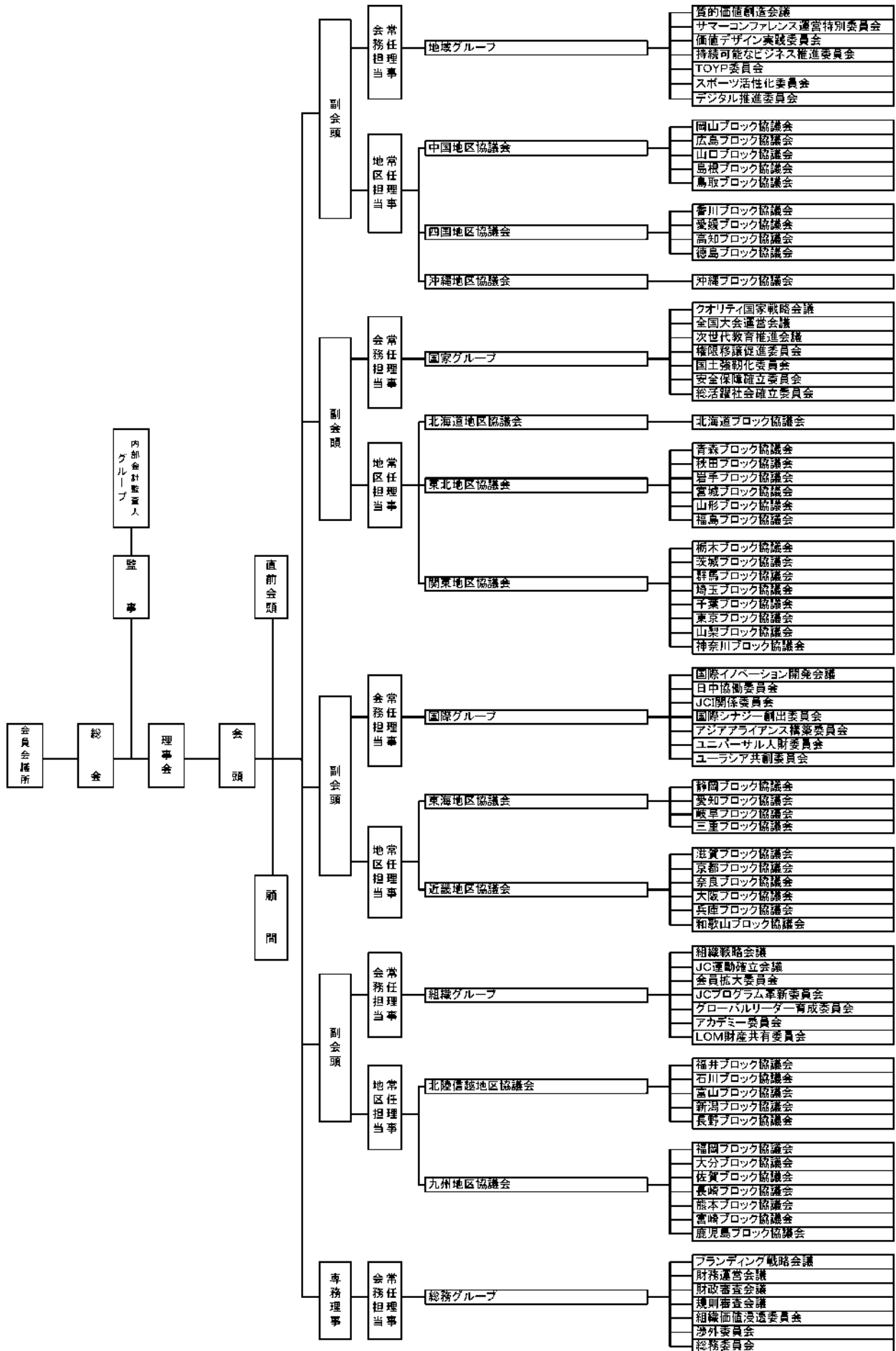


2021年度 公益社団法人日本青年会議所 北陸信越地区 組織構成図



更新日 2020/10/1

公益社団法人 日本青年会議所 2021年度基本資料 組織図



2021年度 年間公式スケジュール

【松本青年会議所】

会議名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
例会	15日(金) 第123回 定時総会	2日(火) レジリエント委員会	2日(火)・16日(火) 次世代の学び推進委員会 総務組織変革委員会	2日(金) NEW経済委員会	6日(木) 広軌拡大会議	2日(水) 総務組織変革委員 会	2日(金)・21日(水) 親光啓和委員会 総務組織変革委員会	未定 未来のJAYGEE育 成委員会	2日(木) ヘリテージ継承委員 会	1日(金) レジリエント委員会	2日(火) 次世代の学び推進 委員会	4日(土) 広報班委員会 総務組織変革委員会
役員会	2020年 12月28日(木) 8日(金) 新旧合同	8日(月)	8日(月)	7日(水)	7日(金)	7日(月)	8日(木)	9日(月)	7日(火)	7日(木)	8日(月)	8日(水)
理事会		22日(月)	22日(月)	20日(火)	20日(木)	21日(月)	20日(火)	20日(金)	21日(火)	20日(水)	22日(月)	20日(月)
友好JC その他									25日(土) 宮古60周年	弘前70周年		

【長野ブロック協議会】

会議名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
会員協議所会議	31日(日) 上田	25日(木) 駒ヶ根	29日(月) 北アルプス	27日(火) みゆき野	25日(火) 飯田	29日(火) 小諸	27日(火) 諏訪園	24日(火) 南長野	27日(水) 上田	27日(水) 塩尻	23日(火) 上田	12月
理事協議会		3日(水) 上田(WEB)	3日(水) 塩尻	8日(水) 上田(WEB)	10日(月) 上田(WEB)	9日(水) 上田(WEB)	8日(木) 諏訪園	4日(水) 南長野	14日(木) 上田(WEB)	14日(木) 上田(WEB)	11日(木) 上田(WEB)	10日(金) 上田
役員会議	15日(金) 上田	17日(水) 上田	17日(水) 上田	14日(水) 上田	12日(水) 上田	16日(水) 上田	14日(水) 上田	18日(水) 上田	20日(月) 上田	19日(火) 上田	14日(日) 上田	23日(木) 上田
公益財政審議会		未来継承財源委員会 11日(水)		リテラシー向上委員会 18日(日)		リテラシー向上委員会 27日(日)	徳州Lovers協議委員会 ふっかっ北前船事業 25日(日)		ブロック大会 12日(日) 南長野			
主要事業		26日(金)・27日(土) 松本支店/アカサマ事業 全体会議		29日(木) 諏訪園20周年	29日(土) 駒ヶ根55周年			南長野				
周年事業 その他												

【北穂信越地区協議会】

会議名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
会員協議所会議	22日(金) 京都			3日(土) (WEB)			9日(金) (松本)				27日(土) 新旧合同(新潟)	12月
役員会議	9日(土) (WEB)	6日(土) (新潟・WEB)	6日(土) (WEB)	3日(土) (富山・WEB)	1日(土) (WEB)	5日(土) (石川・WEB)	3日(土) (松本)		4日(土) (WEB)	2日(土) (WEB)	6日(土) (新潟)	4日(土) (福井)
財政特別委員会												
主要会議							地区フォーラム 10日(土)松本 野球大会 11日(日)私本	JCカッパ 日()				

【(公社)日本青年会議所】

会議名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
理事会	22日(金) 京都	20日(土)	20日(土)	17日(土)	15日(土)	19日(土)	16日(金)		18日(土)	8日(金) 宇都宮	27日(土)	18日(土)
ブロック会長会議												
総会	23日(土) 京都		27日(土) 東京							8日(金) 宇都宮		
JCI幹事理事会 (JCI JEW/JBW)												
JCI諸会議							JCI中間監査 日()~日()				JCI世界会議 /()~()	
NOM主要会議	京都会議 (京都) 21日(木)~24日(日)						国際アカデミー サマーコンファレンス (横浜) 17日(土)~18日(日)			全国大会 (とちぎ宇都宮) 8日(金)~11日(月)		

2021年度 理事長囑託団体名役職一覧

松本市・ソルトレークシティー姉妹提携委員会
さわやか信州松本フェスティバル組織委員会
松本市明るい選挙推進協議会
街を花いっぱいにする会
松本市教育委員会
松本市・海外都市交流委員会
夏まつり松本市ぼんぼん実行委員会
松本市青少年健全育成市民大会
まつもと市民祭松本まつり実行委員会（武者行列・ミス松本審査員）
国宝松本城氷彫フェスティバル実行会
松本市三献運動推進協議会
中部縦貫自動車道の早期建設を進める会
「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会
ネイチャリングフェスタ「自然と遊ぼう in 松本」実行委員会
松本市歴史的風致維持向上協議会
松本市ノーマイカーデー推進市民会議
松本マラソン実行委員会
松本市あめ市実行委員会
松本古城会
松本市青少年問題・いじめ問題対策連絡協議会
松本市環境衛生協議会連合会
松本市交通安全市民運動推進会
松本市国際音楽推進団体協議会
地域高規格道路松本糸魚川連絡道路長野県側ルート建設促進協議会
中央東線高速化促進広域期成同盟会
平和・国際交流に関わる留学生スピーチコンテスト実行委員会
長野県献血推進協議会
信州まつもと空港地元利用促進協議会

松本青年会議所 歴代理事長

歴代	西 暦元 号	氏 名	事 業 所 名
1	1960 昭和35年	宮坂真一	宮坂金人(株)
2	1961 昭和36年	小松宣一郎	鶴林堂書店(株)
3	1962 昭和37年	故三原博	(株)三松屋
4	1963 昭和38年	故熊谷郁男	(株)マルタン
5	1964 昭和39年	故青柳安彦	久星食品(株)
6	1965 昭和40年	故露沢芳明	(株)フキザワ
7	1966 昭和41年	故細萱尚孝	(株)遠兵衛
8	1967 昭和42年	丸山昭二	桜田電気工業(株)
9	1968 昭和43年	池田六之助	(株)信州生活互助会
10	1969 昭和44年	故森健純	(株)タツミ亭
11	1970 昭和45年	窪田昇	(株)山忠
12	1971 昭和46年	大石喜彦	本州東信(株)
13	1972 昭和47年	故藤松晃	東洋バイオリアクター(株)
14	1973 昭和48年	務台賢吉	丸吉(株)
15	1974 昭和49年	故寺村泰一	(株)日進ビー・ディー・エス
16	1975 昭和50年	故平林亮	(株)ヒラハヤシ
17	1976 昭和51年	故清水正章	(株)リビングアップ
18	1977 昭和52年	吉澤曹典	(株)ホンダアクト
19	1978 昭和53年	池上忠彦	(株)池上
20	1979 昭和54年	故中村盛安	(株)吉田屋
21	1980 昭和55年	故太田博光	(株)ソラ
22	1981 昭和56年	早田覚弥	(株)松柏パック
23	1982 昭和57年	望月宗敬	望月税務会計事務所
24	1983 昭和58年	青山織人	(学)未来学舎
25	1984 昭和59年	故唐沢成昭	中央石油(株)
26	1985 昭和60年	大蔵治	大蔵木工(名)
27	1986 昭和61年	平形芳朗	平形興行(株)
28	1987 昭和62年	縣正長	松本ツーリストホテル(株)
29	1988 昭和63年	西堀恒司	(株)信濃毎日新聞松本専売所
30	1989 平成元年	山元秀泰	(有)オーチャード
31	1990 平成2年	故内藤玄雄	法雲山龍興寺
32	1991 平成3年	増田博志	(株)増田
33	1992 平成4年	宮澤徹	(有)マゼンタ
34	1993 平成5年	小林磨史	(有)ホテルニューステーション
35	1994 平成6年	西川直孝	西川税務会計事務所
36	1995 平成7年	村瀬清美	(株)松本グリーンホテル
37	1996 平成8年	岩原忍	(有)岩原建築店
38	1997 平成9年	大久保仁司	(株)ヤマサ総本店
39	1998 平成10年	林勇次	(株)松本マツダオート
40	1999 平成11年	藤松良理	松本三和電興(株)
41	2000 平成12年	小林正樹	(株)松本スイミングセンター
42	2001 平成13年	山本俊幸	呉服のマルヤ
43	2002 平成14年	滝田賢治	信越測機(株)
44	2003 平成15年	大月弘士	(株)大月酒店
45	2004 平成16年	二木伸次	(資)富士の湯旅館
46	2005 平成17年	山村和永	(株)薬師平ホテル
47	2006 平成18年	浅井正徳	浅井木材(株)
48	2007 平成19年	丸山嘉正	(株)丸山タイヤ
49	2008 平成20年	田多井健介	田多井薬局
50	2009 平成21年	上條洋	(有)コウヨウアイランド
51	2010 平成22年	水野谷武士	(株)水野谷
52	2011 平成23年	中田忠章	(株)ロイヤルオートサービス
53	2012 平成24年	渡辺慎也	(株)丸昇
54	2013 平成25年	山本篤司	(株)ジュネス
55	2014 平成26年	関谷光貞	(株)ユーイ
56	2015 平成27年	中林玲	(有)イー・オフィス
57	2016 平成28年	大蔵俊介	大蔵木工(株)
58	2017 平成29年	早田和重	(株)松柏パック
59	2018 平成30年	浅田孝	(株)フィックス
60	2019 平成31年	伊藤総一郎	松本事業(株)
61	2020 令和2年	小林篤史	(有)ホテルニューステーション
62	2021 令和3年	和田元樹	(有)ダスキングラヌキサービス社

*事業所名は当時の名称です。

松本青年会議所 物故会員

氏名	事業所名	生年月日	逝 去 年 月 日	享年
清水 誠一郎氏	清水ラビット(株)	1925年2月18日	1979年4月23日	54歳
野口 和英氏	(株) 野 口	1932年12月9日	1982年8月30日	49歳
三浦 勝博氏	相 生 の 湯	1949年1月12日	1983年5月4日	34歳
泉 興二氏	(株) 泉 精 器 製 作 所	1939年6月27日	1983年12月11日	44歳
高野 登氏	(株) 本 町 た か の	1930年7月7日	1984年4月25日	53歳
市東 貞雄氏	(株) し づ か	1933年1月3日	1984年9月15日	51歳
山崎 篤氏	(株) ヤ マ ザ キ	1945年12月5日	1984年12月29日	39歳
岡野 彰氏	(有) 岡 野 金 物 店	1922年6月7日	1986年5月31日	64歳
俣 孝一氏	(株) 信濃観光ツアーリスト	1924年5月23日	1986年9月24日	62歳
寺村 泰一氏	日 進 紙 業 (株)	1940年6月1日	1989年5月7日	48歳
小林 則夫氏	(株) 小 林 創 建	1947年11月6日	1989年9月30日	41歳
佐野 征司氏	(有) 佐 野 工 務 店	1942年2月9日	1989年11月16日	47歳
中野 一正氏	(株) 小 松 製 作 所	1921年9月20日	1990年10月28日	69歳
三原 博氏	(株) 三 松 屋	1929年8月5日	1991年5月19日	61歳
高橋 清氏	がらくたの店 中町の樽屋	1927年4月29日	1992年3月1日	65歳
浜 晴氏	松本エレクトー販売(株)	1924年1月1日	1992年4月15日	68歳
増田 和宣氏	(株) リビソグ'ノラサ'マスタ	1952年1月12日	1993年8月31日	41歳
細 萱 尚孝氏	(株) 遠 兵	1930年4月11日	1994年5月23日	64歳
三輪 義輝氏	(名) 生与三輪商会	1924年4月2日	1995年6月23日	71歳
上條 季亮氏	上 條 鋼 材 (株)	1935年11月25日	1996年4月24日	60歳
上條 忠仁氏	(株) 上 條 石 材 工 業	1948年1月15日	1996年5年3日	48歳
斉藤 聡平氏	(名) 山 平	1928年10月1日	1997年1月21日	69歳
百瀬 了介氏	(株) 百 瀬 石 油	1927年9月7日	1997年7月3日	69歳
水城 基次氏	(株) み づ し ろ	1926年11月1日	1997年12月23日	71歳
甕 一雄氏	(株) オ カ ダ ヤ	1927年4月7日	1998年7月4日	71歳
小林 克平氏	川 越 印 刷 (株)	1920年7月20日	1998年7月31日	78歳
木澤 政聞氏	(株) キ ザ ワ	1937年1年26日	1999年5月8日	62歳
中沢 忠一氏	中 沢 石 油 (株)	1934年7月25日	1999年6月21日	64歳
手塚 栄治氏	(株) 手 塚 屋	1922年7月25日	1999年8月30日	77歳
戸澤 義盛氏	(株) ビセン・(株) パウハウス	1946年1月29日	2000年2月22日	53歳
池上 莊平氏	(株) エステート・イケガミ	1935年10月8日	2000年11月25日	65歳
中村 盛安氏	(株) 吉 田 屋	1940年1月10日	2002年3月22日	62歳
宮澤 宏昌氏	(株) 松 本 館	1929年9月10日	2002年9月7日	72歳
田中 弘美氏	(株) 新 橋 飴 本 店	1935年5月10日	2003年2月5日	67歳
二村 美而氏	二 村 外 科 医 院	1932年2月13日	2003年5月3日	71歳
奥原 昌彦氏	榎川村役場監査事務局	1931年9月16日	2003年5月6日	75歳
前田 昭治氏	松竹物産笹屋本店	1927年4月25日	2003年8月16日	76歳
藤川 隆邦氏	(株) 共 和 製 作 所	1921年9月14日	2004年1月7日	82歳
唐澤 成昭氏	中 央 石 油 (株)	1945年3月3日	2004年1月29日	59歳
清水 正章氏	(株) リビングアップ	1939年1月1日	2004年3月30日	65歳
奥澤 俊一氏	(名) 奥 澤 商 会	1924年3月5日	2004年6月3日	80歳
高橋 莊作氏	(株) フォードライフ信州	1946年2月28日	2004年7月9日	58歳
矢満 田幸氏		1926年8月14日	2005年5月21日	78歳
村澤 和良氏	(株) 信濃不動産鑑定士事務所	1945年8月19日	2005年9月29日	60歳
太田 博光氏	(株) ソ ラ ン	1944年2月11日	2006年7月16日	62歳
古田 昭夫氏	(株) バントリーマルナカ	1927年1月5日	2006年9月22日	79歳
熊谷 郁男氏	(有) マ ル タ ン	1926年11月3日	2007年6月29日	81歳
松澤 誠重氏	(有) 松 沢 鑄 造 所	1931年8月9日	2007年9月17日	76歳
中川 健司氏		1942年3月22日	2007年10月6日	65歳
滝澤 健一氏	(株) ホ テ ル 富 貴 の 湯	1948年7月6日	2007年10月10日	59歳
中嶋 栄一氏	ダイナテック(株)	1942年6月24日	2007年12月26日	65歳
平林 正司氏	(株) ヒ ラ バ ヤ シ	1941年6月11日	2007年12月28日	66歳
能勢 頼夫氏	(株) ノ セ	1938年10月4日	2008年3月10日	69歳
木下 正義氏	ホ テ ル 井 筒	1933年5月31日	2008年10月14日	74歳
寺村 昭徳氏	大 徳 紙 商 事 (株)	1942年1月20日	2008年10月28日	66歳
青木 俊達氏	松 本 タ ク シ ー (株)	1938年12月9日	2009年3月16日	81歳
西澤 健臣氏	(株) プ ラ ン ニ ング 西	1928年1月31日	2009年5月9日	79歳

氏名	事業所名	生年月日	逝 去 年 月 日	享年
片瀬 嘉夫氏	(株) カ タ セ	1929年6月29日	2009年5月16日	69歳
池田 庸一氏	衛 三 六 洋 服 店	1943年4月5日	2009年7月28日	66歳
須藤 重男氏	(株) ス ド ー ジ ャ ム	1928年7月17日	2010年2月17日	81歳
藤 松 晃氏	東洋バイオリアクター(株)	1932年5月16日	2010年2月18日	78歳
宮下 眞一氏	河 西 商 事 (株)	1979年9月9日	2010年10月17日	31歳
太田 敬氏	ニ ッ サ ン 産 業 (株)	1934年11月18日	2010年11月18日	76歳
路澤 芳明氏	(株) フ キ ザ ワ	1930年9月9日	2011年3月21日	80歳
平林 亮氏	(株) ヒ ラ バ ヤ シ	1935年7月27日	2011年8月26日	76歳
下里 孝次氏		1947年10月13日	2012年2月22日	65歳
小口 茂和氏	(合名) 小口時計店	1929年2月2日	2012年3月29日	83歳
森 健純氏	タ ツ ミ 亭	1930年5月2日	2012年12月27日	82歳
石曾根 均氏	みずほ歯科医院	1960年2月9日	2013年5月11日	53歳
青柳 安彦氏	久 星 食 品 (株)	1931年5月9日	2013年8月11日	80歳
寺澤 弘昌氏	衛 市 田 屋	1946年1月29日	2013年9月16日	67歳
中村 賢一氏	(株) 中 村 建 工	1964年9月11日	2013年11月18日	49歳
山元 清嘉氏	(株) レ ス ト ラ ン 鯛 萬	1937年4月8日	2013年12月16日	76歳
塩原 隆登氏	(合資) 三立商点	1927年8月17日	2014年5月14日	86歳
守岡 昱氏		1932年5月24日	2014年6月7日	82歳
高山 誠作氏	(株) 新 興 製 作 所	1921年5月12日	2014年6月14日	93歳
中嶋 清高氏	尚 誠 堂 補 聴 器 (株)	1927年9月27日	2014年9月27日	87歳
東城 廣國氏	東 城 外 科 医 院	1934年2月11日	2015年3月10日	81歳
丸山 昭二氏	桜 田 電 気 工 業 (株)	1940年6月28日	2015年4月25日	75歳
倉橋 英太郎氏	(株) 倉橋英太郎建築設計事務所	1950年5月25日	2015年5月21日	65歳
樋勝 政雄氏	衛 オ フ ィ ス ・ エ ム	1943年7月21日	2015年10月23日	72歳
飯沼 瑛氏	(株) マルエススーパードライ	1931年2月2日	2015年9月12日	84歳
青柳 良彦氏	久 星 食 品 (株)	1962年5月4日	2016年3月1日	53歳
横林 徳明氏	衛 宮 建 築 設 計 事 務 所	1935年9月2日	2016年6月2日	80歳
奥村 斌氏	奥 村 ラ シ オ 店	1938年2月13日	2016年6月28日	78歳
飯島 欽也氏	(社) 才能教育研究会	1951年8月24日	2016年7月11日	65歳
大 藏 治氏	大 藏 木 工 (株)	1947年3月12日	2017年2月23日	69歳
中島 清好氏	衛 中 島 酒 店	1929年6月10日	2017年4月28日	87歳
内藤 玄雄氏	法 雲 山 龍 興 寺	1950年12月16日	2017年5月16日	66歳
山田 英一氏	チャガ茶普及会	1962年12月14日	2017年8月21日	
西浦 孝氏	西 電 設 工 事 (株)	1960年5月14日	2017年9月10日	57歳
宮下 八廣氏	(株) 銭屋・松本秩父生コン(株)	1953年9月30日	2017年10月2日	64歳
恩田 敦史氏	工 レ マ (株)	1953年2月6日	2017年10月26日	64歳
中村 代次郎氏	金 信 信 州 衣 料 (株)	1937年2月26日	2017年11月16日	80歳
掛川 先氏	(株) シ ー ビ ー シ ス テ ム	1953年3月30日		64歳
中川 一三氏	(株) 中 川 洋 服 店	1933年9月12日		84歳
餘田 雅彦氏	(株) 魚 網	1957年5月4日	2017年11月19日	61歳
伊藤 真佐之氏	(株) 三 よ し	1959年12月13日	2018年12月9日	58歳
三浦 昭氏	ホ テ ル 小 柳	1942年10月3日	2019年9月4日	76歳
久保田幸次郎氏	久 保 田 容 器 工 業 (株)	1936年2月18日	2019年10月20日	83歳
杉浦 正一郎氏	(株) ア ー ス ク リ ー ン	1938年1月5日	2019年10月25日	81歳
李 暁麗氏	ス ナ ッ ク エ ン ジ ョ イ	1985年4月29日	2019年11月3日	34歳
窪田 昇氏	株 式 会 社 山 忠	1933年2月1日	2020年4月1日	86歳
中村 鉄哉氏	株 式 会 社 中 徳	1933年9月8日	2020年4月16日	86歳
務台 賢吉氏	株 式 会 社 丸 吉	1933年7月10日	2020年9月8日	87歳
上條 義昌氏	有限会社デザインアート社	1946年5月30日	2020年2月19日	73歳
新井 典夫氏	有限会社A&A構造研究所	1950年7月26日	2020年8月3日	70歳

*事業所名は当時の名称です。

賛助会員

- 1 (株) 八十二銀行 松本営業部 様
- 2 (株) 長野銀行 本店 様
- 3 松本信用金庫 本店 様
- 4 長野県信用組合 松本支店 様
- 5 信濃毎日新聞(株) 松本本社 様
- 6 信越放送(株) 松本放送局〔SBC〕 様
- 7 (株) 長野放送 中南信支社〔NBS〕 様
- 8 (株) テレビ信州 本社〔TSB〕 様
- 9 長野朝日放送(株) 中南信支社〔ABN〕 様
- 10 (株) 市民タイムス 様
- 11 (株) テレビ松本ケーブルビジョン〔TVM〕 様
- 12 中部電力パワーグリッド(株) 松本営業所 様
- 13 公益社団法人 才能教育研究会 様
- 14 学校法人 未来学舎 様
- 15 (株) 信濃毎日新聞 松本専売所 様
- 16 (株) M G プ レ ス 様
- 17 アサヒビール(株) 長野支店 様
- 18 中日新聞 長野広告社 様
- 19 (株) 読売新聞 松本広告社 様
- 20 松 本 館 (株) 様
- 21 ブリヂストンタイヤ 長野販売(株) 様
- 22 (株) 県 設 計 様
- 23 (株) 第 一 印 刷 様

JCCソング

J C J C J C

世界を結ぶ 若き団結

新しき世紀の 希望となりて

永遠に繁栄えん 我等の集い

J C J C J C

奉仕の理想 探究めつつ

祖国の進歩の 力となりて

先駆けゆかん 我等の集い

若い我等

一、若い我等が 手を取り合つて

進む行手の 青い空に

輝くJ C 明るい希望

足なみをそろえて 行こうじゃないか

二、世界を結ぶ 若さの力

互いに尽す 楽しさこそ

J Cの理想だ 新しい日だ

足なみをそろえて 行こうじゃないか

三、若い我等の 心を集め

つくる集いに 未来をかけて

J Cの仲間は 皆信じあう

足なみをそろえて 行こうじゃないか

明日のために

若さと若さが 手結び

明日にいつも 向うのだ

豊かな未来 めざしつつ

日本の道を 創ろうよ

行こうJ A Y C E E

明日のために

※印くりかえす

心と心を つなぎあい

大きな虹を かけるのだ

生きてることの 喜びを

すべての人に 投げかけて

行こうJ A Y C E E

明日のために

命と命が 満ちあふれ

光となつて 燃えるのだ

世界の窓に 一つの日も

希望の夢は はばたくよ

行こうJ A Y C E E

明日のために



一般社団法人 **松本青年会議所** 認証188

〒390-0811
松本市中央1丁目23番1号
松本商工会館3F

TEL(0263)32-7646
FAX(0263)36-2024

URL <http://www.matsumoto-jc.jp>
E-mail jcmnet@po.mcci.or.jp

編集／総務組織変革委員会
印刷／(株)第一印刷